

県会議員 奥村のり子 の  
読者ニュース

2014年4月13日 第126号  
——奥村のり子生活相談所——  
〒640-8212 和歌山市杉ノ馬場 1-11  
☎&FAX 073-427-7121  
Eメール w:jcpken@naxnet.or.jp



和歌山市駅南海ビルの高島屋閉店の問題で、城北後援会のみなさんとアンケート活動に取り組み始めました。アンケートの内容は高島屋の閉店でお困りになることを具体的に伺い聞きするということになります。第1回目は市駅前の商店や住民の方から6件の回答を頂きました。スーパーが全くななくなり毎日の食料品の買い物に困ります。

商店で聞き取り調査する後援会員と奥村のり子です。



「市駅前の活性化へアンケート調査」の街はどこと聞かれシヨックの声も  
店のためか、4月1日からお客様さんの足がパタッと止まりました。通りも本場に静か」と話していただきました。ある商店の方は観光客の方から「まちはどこですか」と聞かれ「市駅前のここがまちです」と答えたいのですが、大変シヨックを受けたいと言われていました。いつそう、街なかの過疎化を実感させるお話です。今後さらに駅を利用されている方々や高島屋に働く皆さん方からもアンケートを広げて参ります。

4月20日告示！  
海南市議選ご支援  
お願いします

4月20日告示、27日投票で行なわれる海南市会議員選挙で、党候補への支援を心よりお願いします。  
この日の敬二(64歳・現)、岡よしあき(58歳・現)、上田ひろし(66歳・現)、はしづめ美恵子(56歳・現)の4人の現職市議が猛奮闘しています。  
立候補説明会には定数22に対し26陣営が出席、少数激戦の様相です。来春の県議選(定数3)で雑賀光夫県議の再選のためにも重要です。4人の市議団は雑賀県議と連携し住宅リフォーム制度やコミュニティバスの実現など数々の実績をあげています。  
国の悪政から市民を守る防波堤の役割をさらに大きくするため全力で頑張ります。  
海南市のお知り合いの方に支持を広めることやビラ配布など、和歌山市からも応援しています。各候補の生活相談地域は、電話(482)0127へお問い合わせ下さい。何卒よろしくお申し込みをお願いします。  
(写真は3月29日、4候補が勢ぞろいした演説会)



次期市議選で私に代わって立候補を予定されている、坂口多美子さんと一緒に、初めて街頭からハンドマイクで宣伝をしました。パームシティー前での訴えです。党河西後援会では恒例となっている宣伝場所であり、一緒にマイクを握ったのは初めての事です。

花見客と懇談も

坂口さんは自ら看護師としての経験から医療、介護のこと、また子育てに対しては医療費負担を中学生まで無料に、と経験からくる訴えのその切実さは言葉の端々に表れています。  
同時に周辺の私の知り合いのご家庭へ訪問も進めています。梅原地区では産業廃棄物中間処理場建設への反対運動と一緒に戦った方たち、また「生産緑地」制度導

のり子の週間日誌(主なもの)

- 4月11日 市駅前早朝宣伝、地域訪問、生活相談 党県社保部会
- 12日 市政ウオッチング
- 13日 地域訪問
- 14日 地域訪問、会議
- 15日 ボランティア、会議
- 16日 県議団会議
- 17日 無料生活相談日、海南市議選の応援

坂口多美子さんと初めての街頭宣伝



入時に農業の様々なことを教えていただいた方たちとも逢うことができました。

とりわけ満開の桜が咲く大神社で休憩をするつもりで寄っていると、花見客の3団体は知り合いばかりで挨拶と懇談もできました。

またかつて市職員のご婦人とも合い、「定年となり、元気なうち何かをお手伝いしなければ」と、定年後は介護施設を自ら立ち上げた、とのことでご苦労を聞くことができました。

訪問はまだ始めたばかりで、まずは県議選で奥村のり子県議の再選、市議選では私の議席を確実に引き継ぐため全力をあげたい。(写真は「中学校卒業まで医療費無料を」と署名を訴える坂口多美子さん)

党市議会議員  
渡辺 忠広



リレートーク

Relay talk

リレートーク

リレートーク

Relay talk

